

株式会社新潟関屋自動車学校 取締役会長

わたいのぶゆき
綿井 伸行氏

100年に渡りドライバーを育成。 丁寧な指導と“居心地の良さ”を追求



PROFILE

1950年生まれ、新潟市出身。大学卒業後、東京で12年間会社員を務め、1981年に帰郷。父が社長を務めていた新潟関屋自動車学校に入社する。2000年 代表取締役社長に就任。2020年 取締役会長に就任。新潟商工会議所では議員を務めている。

新潟関屋自動車学校は、自動車に魅せられた初代が大正時代に創立した、伝統と歴史のある自動車学校。時代の変化に対応しながら、教習生の目線に立った指導、より快適で利便性の高いサービスの提供に力を入れてきた同校の綿井会長に、お話を伺いました。



新潟関屋自動車学校

〒951-8166

新潟市中央区関屋浜松町22

TEL:025-265-0101 (代)

<https://www.sekiyads.co.jp>



異業種の取組も参考にしながら、
さまざまなことに挑戦してきました。
どんなことにでも興味を持つことが
大切だと思います

学科試験の合格率県下NO.1。 マンツーマンの個別学習を実践

新潟関屋自動車学校は、綿井会長の祖父・綿井兵吉氏が1925年に創業。新潟県はもとより全国に現存する自動車学校の中でも屈指の歴史を誇っている。100年に渡りドライバーを育成し、現在も多くの教習生に支持される理由の一つが、運転免許センターでの第一種学科試験合格率が新潟県下1位(2025年1~12月)という実績だ。「集団学習だけでなく、教習生一人一人の学習の理解度に合わせ、指導員がマンツーマンで個別学習を行っています。しっかりとした知識を身に付けて卒業してもらおうことが大切で、それが事故率を下げることにもなります」と綿井会長は話す。

快適性の高い施設、食事が評判に。 合宿生の新規獲得に貢献

これまで事業を続けてこられた理由について、「私自身は興味を持ったことにいろいろ取り組んできました。その積み重ねが今に繋がっているのではないのでしょうか」と話すように、1987年には県下初の2階建て教習コースを建設。1992年には教習車にBMWを導入するなど、革新的な取組で他校との差別化を図ってきた。中でも県外者を対象にした合宿教習に力を入れてきたことから、現在は合宿生が6割、通学生が4割という比率になっている。

さらに2017年から食堂、校舎、合宿寮を次々と新築し、施設の充実化を図る。「2020年に完成した合宿寮は全てシングルルームにしたので、コロナ禍のときは関東圏の大学生がかなり来てくれ



2階建て教習コースは1階が四輪車、2階が二輪車専用。コースが分かれているため、より安心・安全な環境で教習を受けることができる。



校舎2階にある明るく、広々とした待合室。更衣室やパウダールームを完備した女性専用待合室もある。

ました」。個室をはじめ万全なセキュリティ対策、手作りの食事など快適性にこだわった合宿寮は口コミで評判を呼び、同校を選ぶ理由として「施設と環境」「美味しい食事」と答える教習生が増えたという。「施設や環境が悪いと、やる気をなくしますよね。教習でも合宿でも“居心地良くしてあげる”ことを大切にしています」。

職員一人一人の幸福度が お客様へのサービス向上に繋がる

新潟商工会議所では議員を務めている綿井会長。「異業種交流でいろいろな情報を得られたり、視察や研修会を通して他の企業を見学できたりするのも商工会議所の良いところ。ただ話を聞いたり、会社にいたりするだけでは情報は入ってこないで、積極的に外に出て自分の目で他の企業を見ることで、新しいアイデアが生まれることもあります」。

今後については「職員をより大切にしていけることが重要です。職員一人一人が働くことに幸せを感じてもらえれば、お客様へのサービスの向上にも繋がると思います」と綿井会長。次の100年に向け、これからも自動車教習サービスを通して安全・安心な社会の確立に貢献していく。



合宿寮は100室全てがシングルルーム。寮内には女性専用ランドリーもあり、プライバシーやセキュリティを重視している。



栄養バランスを考えた手作りの料理が好評。合宿期間中は毎日違ったメニューを3食楽しむことができる。